

令和 5 年 6 月 27 日
役 員 会 決 定

千葉大学における研究設備・機器の整備・共用方針

千葉大学は、『千葉大学ビジョン』において、「国際頭脳循環の中核として世界最先端の研究を展開」することや、「社会に大きく貢献する」こと等を柱として「世界に冠たる千葉大学」を目指すとしている。

このビジョンを具現化するためには、研究者がより自由に研究を進めるための環境整備や、限られた研究資金をより効率よく成果につなげる必要があり、研究設備・機器の共用はそのための大きな要素である。また、共用による活用手法の拡大や、研究の共創的発展につながる効果も期待できる。

そこで本学では以下の方針により、全学の協働体制の下で、研究設備・機器を持続的に整備して共用を推進するとともに、専門人材の育成、スペースの有効活用、省エネルギー対応等と一体的にマネジメントを行う。

(共用について)

- 本学における研究設備・機器の「共用」とは、学内の特定の研究グループ等に限定せずに研究設備・機器を利用することである。その範囲や利用形態等については、別に定める。
- 研究設備・機器は、それを整備した資金を問わず、その特性・需要・効果等を踏まえつつ積極的に共用に供するものとする。
- 研究設備・機器の学外からの利用を推進することにより、共同研究を促進するとともに、産学連携・地域連携を強化し、社会に貢献する。

(共用設備・機器の運用について)

- 共用に供する研究設備・機器は、全学の協働体制の下で運用する。
- 研究設備・機器の管理は、原則として、管理部局および管理責任者が主体的に行うものとする。
- 研究設備・機器の運用にかかる経費は、原則として、学内外の利用者を含む受益者に広く負担を求めるものとする。

(整備について)

- 研究設備・機器の計画的な整備を全学で推進するため、戦略的設備整備・運用計画を策定するとともに、その検証を随時行うものとする。
- 戦略的設備整備・運用計画の策定及び検証にあたっては、研究分野や部局等の特色を踏まえるとともに、全学的ニーズや社会的ニーズを考慮するものとする。